


鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

部会名	役員会	会議名	第1回会議		
日付	令和5年6月16日(金)	場所	鶴嶺東コミセン	記入者	山上壽子
＜主な内容＞					
・森谷会長体調不良で欠席					
・木下副会長 挨拶					
・自己紹介・・・本部役員					
防災減災部会部会長		高橋夏木（新）			
環境安全部会部会長		高橋里幸（継続）			
地域福祉部会		木村敏夫（新）			
1. 市まちぢから連絡会報告について					
別紙 報告書参照					
2. 令和5年度市民集会のテーマについて					
今年度も各地区テーマを1つに絞って開催する。午後の各部会において意見聴取をお願いしたい。					
来週中までにまちぢからレターボックスへ提出する。					
3. 防災訓練への中学生の参加について					
いつ起こるかかわからない災害の対応として、日中の災害においては中学生が大きな力になると期待されている。このことを踏まえ、各地区まちぢから協議会に先駆けて東地区プロジェクトチームを立ち上げ2年計画で実施に向けて準備をしていく。					
人数：10名程度プラス行政（安全対策課） 秋口から今年中に立ち上げる予定					
4. 高齢者活性部会について					
部員の高齢化と出席率、出席者の偏り等で今年度の部会長選出が出来ない現状である。					
部会の意見としては、他部会との合流もしくは休会するしかない。					
意見)・防災減災部会は、自治会長と防災リーダーで構成されているので環境安全部会か地域福祉部会への合流が望ましい。					
・高齢者活性部会の部員本人の希望で環境安全部会か地域福祉部会に決めてもらうのが良いのではないか・・・役員全員 承認					
5. 非常時緊急連絡網について					
伝達方法について 従来の伝言形式では正確且つ迅速に伝わらないところもあるため一斉送信できる方法（LINE/ショートメール）を活用していく。					
《質問・意見》					
・市民集会そのものに馴染みがないので概要について説明をお願いしたい。					
・防災訓練への中学生参加はどこから声が上がったものなのか？					
まちぢから協議会から中学校へ提案したもの。自分が暮らしている地域が安全なのか考えてもらうきっかけとしてほしい					
・意義、目的をしっかりと伝え理解してもらって参加してもらうことが大事。					
・中学生は自ら動けないのではないのか？地域の一員としてこれならできる、こんなことなら手伝えるあれもこれもではなく最低ラインを体験する方が良いのではないのか。					
・子どもの頃の経験が大人になって生きていくことにも繋がる。					
・「中学生の参加の視点＝大人を巻き込む」という事ととらえることが大事。					
・学校（生徒）⇔保護者⇔地域の関係を一層強化するきっかけにもなる。					

<次回の予定・内容>
令和5年7月14日（金）10：30～A会議室
<その他>

 以下に報告願います

広報担当 西江園 n.yuko.0209@gmail.com

コミセンメールボックス（鶴嶺東地区まちぢから協議会）